

【様式①】令和7年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 厚見学園

校長名 大梅 雅彦

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校として、3指導部体制を基盤とし、9年間を見据えた教育課程を編成する。 ・全職員が小中一貫教育のよさや意義を理解し、目的を明確にして学校経営に取り組み、実践を積み重ねる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・研究内容の共有化を図り、小中合同で授業研究会を行った。また、学習や生活に関わる基本的な指導の統一に向けて会議を行った。 ・小学生と中学生が合同でいじめについて考えたり、人権にかかわる講話を聴いたりした。 ・英語教育を含めた9年間を見通した系統的な指導の在り方について、小中で検討を重ねることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育のよさや意義を教職員が理解して学校経営に取り組み、子どもたちに還元してあげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育のよさや意義から、担当者が中心となって具体的な動きを明確にしていく。 ・小中合同の活動や交流を増やしていく。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・CSの組織を生かし、地域人材をゲストティーチャーや学習支援ボランティアとして積極的に活用する。 ・小中一貫校の利点を生かし、指導、支援の共通化を図り、子どもの自尊感情や自己肯定感を高める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ボランティアによる授業支援を推進し、安全面で配慮の必要な活動やつまずきのある児童生徒への支援、家庭科等における作業の補助に入っていた。 ・主幹教諭が中心となって、小中連携の提案、運営を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が地域行事に積極的に参加(ボランティアを含む)ができた。 ・小学校では各学年、学習支援ボランティアによって充実した活動ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して、積極的にボランティアに参加できるように啓発していく。 ・今後も活動や学習に応じて学習支援ボランティアの活用をしていく。
あたたかさど働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職を中心に、多様な働き方に対する配慮や、適正な労働環境の促進の働きかけを行う。 ・学年単位や指導部単位での創造的な取組を推進し、成果を具体的な子どもの姿で共有する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、月45時間以上の時間外勤務の人数が昨年度より減少した。 ・児童生徒に意味ある活動を精選して実施した。掃除交流や小6から中3まで参加する合唱祭を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が互いに協力し合うことを大切にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の力(もの・ひと・こと)を効果的に活用しながら、子どもたちのためになる教育課程を編成していく。 ・教職員の負担についても考慮に入れ、付けたい力を明確にした持続可能な活動を行っていく。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心を引き出す「導入」を工夫し楽しさを味わう授業をつくる。 ・児童生徒一人ひとりのよさやちがいを大切にしたい指導を行う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを明確にし、児童生徒の興味関心を引き出す「導入」を工夫した実践をすることができた。 ・中学校では、全員が参加できる体育祭になるように生徒会が種目を考えた。また、通学靴の規則の見直しを生徒会主体で行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の声を大切にして、行事や活動をつくっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学び楽しさを味わう授業を目指し、「展開」において対話活動を軸にした授業づくりを行う。 ・小中間での異学年交流の中で自分や仲間のよさを味わわせる。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な災害を想定した防災訓練を小中で交流しながら進める。「自分の命は自分で守る」という意識と行動力を9年間で高めていく。 ・9年間を通し、「自分を大切にする。他者を大切にする心と行動」を育て、「どの子ども安心して過ごせる学校」を目指す。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場合を想定した「命を守る訓練」を実施し、子どもたちの防災意識を高めることができた。 ・いじめ事案には、いじめ対策監を核とした校内のチーム体制を生かした対応を行うことができた。また、「いのちの教育」を連携して進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も地域の防災訓練を実施することができ、中学生が主体的にボランティアに取り組んでいた。 ・告知なしや不審者対応を想定した「命を守る訓練」を実施した。日頃から子どもたちの防災意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、様々な場合を想定した意図的な防災教育を推進していく。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの効果的な活用について実践するとともに、ペーパーレスの推進を図る。 ・財務処理を計画的に行うとともに、日常的な点検を充実し、校舎内外の環境整備に努める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校ではタブレットを活用した授業が基本となりつつある。保護者向けの通信等はペーパーレスの発信に移行し始めた。 ・複数でチェックをするなど適正な財務管理に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの効果的な活用について、さらに実践していく。 ・タブレットを不適切に使用する児童生徒に対しての指導を大切にいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの使用の仕方について、教職員間で共通理解を図るとともに、児童生徒への指導を継続的に行っていく。 ・ペーパーレスの一層の推進を図る。

HPアドレス: 厚見小 : <http://gifu-city.schoolcms.net/atsumi-e>

厚見中 : <http://gifu-city.schoolcms.net/atsumi-j>